

# 第1回 日本栄養材形状機能研究会学術集会

## Japanese society for functional structure of nutrition

7年前より本研究会の前身としての講演会およびワーキンググループ活動を行ってまいりましたが、今回正式な研究会として発足し、初めての学術集会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成26年9月27日(土) 13:00～17:00

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール  
東京都文京区本郷7-3-1

参加費：3000円

当番世話人：滋賀医科大学附属病院 栄養治療部部長・病院教授 佐々木雅也  
久留米大学病院 医療安全管理部 部長 教授 田中芳明

13:00～13:05

【開会挨拶】 当番世話人：久留米大学病院 医療安全管理部 部長 教授 田中芳明

13:05～13:20

【新たに発足した研究会について】 代表世話人：近畿大学 名誉教授 大柳治正

13:20～14:50

【研究会報告】 座長：藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 教授 東口高志

全国アンケート調査からみた半固形化栄養、過去から現在への現状変化  
調査ワーキンググループ：田無病院 院長 丸山道生

栄養材の物性評価と人工胃液下における物性の変動

用語ワーキンググループ：近畿中央病院 外科部長 飯島正平

粘度の違いが胃食道逆流に与える影響(造影試験結果から見てきたもの)

研究ワーキンググループ：済生会松阪総合病院 副院長 清水敦哉

物性の違いが嚥下動態に与える影響(トロミとゼリーの違い)

摂食嚥下ワーキンググループ：藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座 准教授 伊藤彰博

15:10～16:00

【要望演題】

座長：東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学・代謝内分泌外科学・教授 瀬戸泰之

「病院から在宅までの半固形化栄養管理の実際」

急性期病院における現状

札幌清田病院 副院長 村松博士

回復期リハビリテーション病院における現状

浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション科 重松 孝

在宅・施設における現状

ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹江治郎

16:00～17:00

【特別講演】 座長：久留米大学病院 医療安全管理部 部長 教授 田中芳明

「粘度可変型流動食の開発と期待される効果」

滋賀医科大学附属病院 栄養治療部部長・病院教授 佐々木雅也

共催：テルモ株式会社

主催：日本栄養材形状機能研究会